

気持ちのよい秋晴れの下、芋ほり体験をしました

新吉富保育所



11月2日(水)、新吉富保育所の園児全員でさくら組(5歳児)が育てたさつまいもを収穫しました。水やりや草取りなど大変でしたが今年もたくさん収穫できました。おうちではお母さんたちが、子どもたちがさつまいもを持って帰るのを、楽しみに待っていました。

大平保育所



11月2日(水)、大平保育所園児は「下唐原東区地域おこしの会」の方に協力いただき芋掘り体験しました。子どもたちは自分の顔ぐらい大きな芋をアツという間にほりあげ、満足そうに持って帰りました。保育所や各家庭で調理され、子どもたちのお腹を満たしてくれることなのでしょう。

実りの秋、小学校5年生は、JA福岡豊築や地域の方々の指導のもと「総合的な学習の時間」に育ててきた米を収穫しました



友枝小学校



唐原小学校



西吉富小学校



「稲刈りと脱穀体験」

友枝小学校(20名)は、10月11日(火)東下営農組合の方々の指導により鎌を使って稲刈りをしました。刈った稲は、大型コンバインを使って脱穀しました。この日収穫した米「ひよもち」は全校児童で山菜おこわにして食べる予定です。

「脱穀と舂すり体験」

唐原小学校(8名)は、11月2日(水)JA福岡豊築の方々の指導で、稲を1本ずつ牛乳パックでこさぐ方法で脱穀しました。脱穀した粉を今度はすり鉢とソフトボールを使って舂すり作業を体験しました。大変さを痛感した子どもたちからは、「昔の人は大変だったんだね」とか「お米を大事にしないとね」などの声が聞かれました。

「足踏み脱穀体験」

西吉富小学校(18名)は、11月2日(水)JA福岡豊築の方や、地域の安元輝己さんの指導により、足踏み脱穀機を使って脱穀体験をしました。子どもたちは初めての体験で、額に汗を輝かせながら、一生懸命作業に取り組みました。この日収穫した米でおにぎりなどを作ってお世話になった方たちをお招きして食べる予定です。



平成23年度
福岡県麦作共励会
優秀賞 受賞

志摩 國廣さん(垂水)

米麦を中心とした土地利用型農業を営んでいる志摩國廣さんが、福岡県麦作共励会において優秀賞を受賞されました。志摩さんは12haを超える麦の栽培を行っており、日頃から適期播種、土入れ、踏圧、赤かび病防除などの栽培管理を徹底し、品質及び生産性の向上に努めています。今年は収穫時期の長雨により、福岡県産麦の収量及び品質が著しく低下した中において、収量・品質共に優秀な成績を収めたことが評価されました。



平成22年度
福岡県大豆作経営改善共進会
奨励賞 受賞

宇野東区
機械利用組合

宇野東区機械利用組合(久保田克信組合長、構成農家23戸)が、福岡県大豆作経営改善共進会において奨励賞を受賞されました。当地域は、ほ場を2つに分けてブロックローテーションによる営農を推進し、大豆の作付面積拡大に努めています。平成22年度大豆の作付面積は約16haで、収量・品質向上のための適期管理の徹底とコスト低減・省力化に努めた取り組み内容が評価されました。

川底柿共励会において 中園典美さんら4名が受賞

11月3日(木)に大平楽において、川底柿の形状や食味などの品質を評価する川底柿共励会が開催され、この中で優秀な成績を収めた4名の表彰式が、11月11日(金)、役場町長室で行われました。最優秀賞は中園典美(原井)、竹下啓子さん(東下)と久恒一夫さん(東下)(共に代理出席)が優秀賞、中園美奈子(原井)さんが審査員特別賞を受賞されました。

今回受賞した4名は、「来年もおいしい川底柿を目指して頑張ります。」と抱負を述べられました。



前列左から、中園美奈子さん、久恒一夫さん(代理)、中園典美さん、竹下啓子さん(代理)

全国健康福祉祭 「ねんりんピック」ペタンク競技で 宇野西区チームが大健闘

60歳以上の高齢者を中心に、スポーツ、文化、健康と福祉の祭典として10月15日から18日にかけて開催された第24回ねんりんピック熊本大会のペタンク競技に、福岡県代表として宇野西区チームが出場しました。昨年開かれた福岡県老人クラブ連合会主催の県大会優勝の実績にふさわしい活躍ぶりで、予選リーグを3戦全勝で1位通過し、全国から集まった強豪76チーム中、第9位的好成绩をあげました。



写真右から、秋吉真須美さん、榎田カツ子さん、榎田一己さん(以上宇野西区)、見真さん(安雲東区)